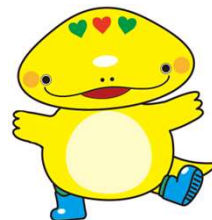




## ともにんのお悩み相談コーナー



### 今回のお悩み

お歳も90代で1人で暮らしていて家族も身寄りもない方を施設に入所していただきたいが、この家を守らなくちゃならないと言われ困った事がある。

「これから一緒に考えていきましょうね」。

「おひとりですと家の中で転ばれて骨折されたりした時大変ですし、施設ですと一日中、夜も職員さんがいてすごく安心ですよ」と説明する。

「お家の事も心配ですが〇〇さんのお体も心配なので一度考えてもらえませんか、寒い季節、暑い時期など特に心配なので。」

「時々施設の職員は家に伺い様子を見てきますが、それでいかがでしょうか」と本人に聞いてみる。

「楽しい所へ行きませんか」と言ってみる。



よくその方の言葉を傾聴しよく話し合い「ご先祖様は家よりあなたを心配されていると思いますので」と伝えてあげると良いと思いました。

「お一人でご不便はございませんか？私達と一緒に考えてみませんか？」と声をかけてみる。

丁寧に説明してご本人に選んで頂くよう努めます。



まずどうして家を守らなくちゃならないのか理由を聞いた上で現実的な落としどころを察がしてみてもいいかと思っています。

この家を守らなきゃいけないという気持ちを聞く。

どういうお気持ちなのか本人のお気持ちや家を守りたい理由を傾聴する。そのうえで、ご本人の体調や状況、また今後起こりうることをお伝えし、施設入所について考えてもらう。

入所してもらいたいのは本人の意志ではなく事業所や職員の思いなので、命の危険がある状態ではないのであれば本人の意志を尊重すべきです。そのために必要な資源を活用することを考えることが支援だと思います。

地域包括支援センターに連絡する。  
関わりをもって見守りを行う。

まず市町村に相談。

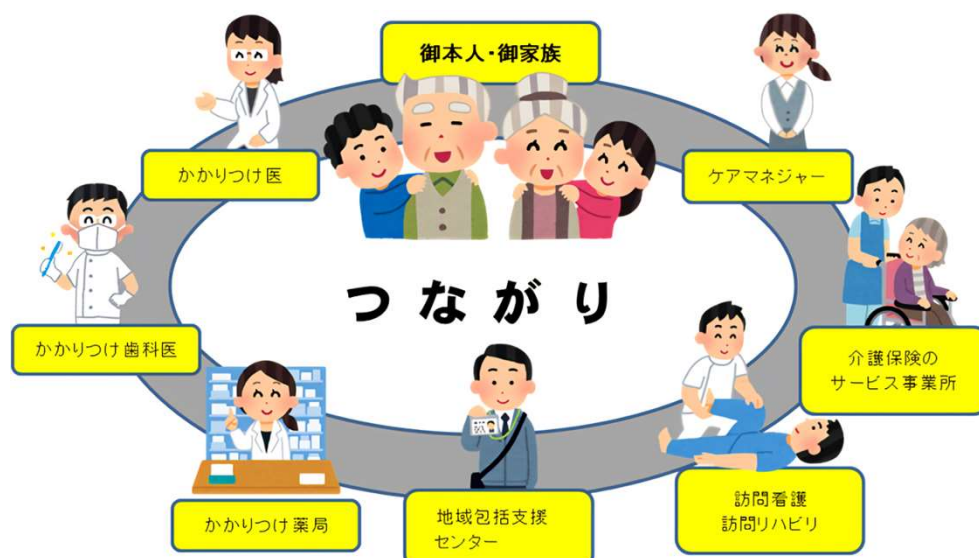
後見人制度の提案なども含め、  
本人の意向に沿いつつ最善策を  
模索する。

説得しても難しいのであれば、まずは本人ができる限り家で暮らせるように訪問看護等から始めていただき段階的に進めてみるといいと思います。

施設入所がベストなのだろうと思いますが、その方が独居生活できるラインを引いて、そのために在宅サービスを入れて細かく様子を見ていきギリギリまで生活させてあげられたらと思います。

施設入所がベストなのだろうと思いますが、その方が独居生活できるラインを引いて、そのために在宅サービスを入れて細かく様子を見ていきギリギリまで生活させてあげられたらと思います。

この文では、なぜ施設に入りたいのかがわからない。体調等に問題がないのならば、まずは訪問から始めて、必要ならばヘルパーを入れたり、地域の行事に参加を促したりするのがいいのでは？





デイサービスから始め、ショート、入所と少しずつ状況を見て進められてはいかがでしょうか。

元気なうちはデイサービスや訪問介護で様子を見ていく

「おひとりで大変な時もあると思うので、時々でいいので遊びに来て下さい」とショート利用から始めていただく。

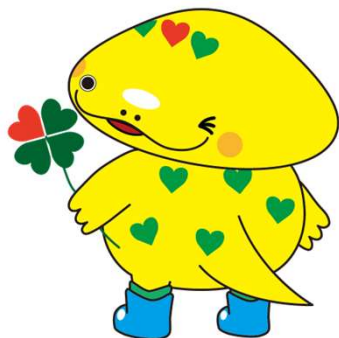
まずはデイ、ショート等利用し、徐々に入所へ。また、病患等が分からない為、難しい。不便がないなら、在宅でもいいのでは？

緊急度、施設の方針にもよりますが、入所してもいつでも家に帰れることを話す。  
また、むづかしいかもしれませんが職員や家の管理を代行してくれるサービスを介して家の状態をいつでも見れるようにし要望があった時に確認できるようにする。



不測の事態で発見が遅れたら、手遅れになり家も守れません。施設では職員が身の周りの世話をしますし、安心して生活出来ます。家は施設から見守りしてはどうですか？

施設で過ごすお部屋をなるべく過ごしてきた環境によせ、しばらく様子を見ていく。  
それでも不安な様子ならお家の写真を用意し、今の状況を知ってもらう。



たくさんのアドバイス、ありがとう。  
みんな、参考にしていにん！